

## 一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和5年度	令和4年度	増減率 (%)	解説
歳入総額	1,564億1,623万円	1,619億2,203万円	△ 3.4	前年度に比べ、個人市民税や固定資産税などの増額により、市税全体は、約4.7億円の増額となりました。一方で、国庫支出金や諸収入、市債などが減額となり、歳入総額では約55億円の減額となりました。
歳出総額	1,515億9,573万円	1,555億7,345万円	△ 2.6	住民税非課税世帯臨時給付金事業などにより民生費が約29.3億円、体育施設整備事業などにより教育費が約14.3億円の増額となりました。一方で、道の駅「まえばし赤城」管理運営事業などにより商工費が約59.3億円、市庁舎整備事業などにより総務費が約21.5億円の減額となり、歳出総額では約39.8億円の減額となりました。
歳入歳出差引額	48億2,050万円	63億4,858万円	△ 24.1	歳入歳出差引額は、「歳入総額」から「歳出総額」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
実質収支	35億3,920万円	51億1,218万円	△ 30.8	実質収支は、「歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたものです。 このうち20億円を財政調整基金(貯金)に積み立て、残りの15億3,920万円を翌年度(令和6年度)への繰越金としました。
単年度収支	△ 15億7,298万円	10億1,123万円	△ 255.6	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
実質単年度収支	△ 44億1,623万円	△ 16億3,246万円	-	実質単年度収支は、「単年度収支」に財政調整基金への積立金(決算余剰積立以外)と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。